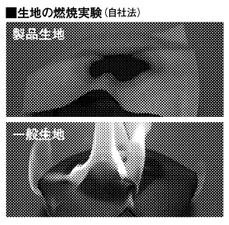
溶接用ユニフォーム

BODY BARRIER®
ボディバリア

ボディバリアは、お客様の様々なご要望を取り入れて完成しました。その特長は、コットン100%の快適性と、火花から体を守る安全性の両立です。この2つを難燃加工のプロバン®生地※を使用することで実現しました。ボディバリアの素晴らしい着心地と機能を、是非一度お試しください。
※プロバン®はRhodia社の登録商標です。

■生地の燃焼実験（自社法）



ダイワボウプログレス株式会社
TEL.06-6281-2413
http://www.daiwabo.co.jp/

消防機能 見直しへ

現行の消防用設備の設置基準は平常時の火災を想定しており、施設の用途に関係なく同様な消防機能を発揮できる規定とされている。東日本大震災では建物によって消防設備の被害は異なった。施設の規模・用途に適し、大規模地震時にも対応する機能を考慮した消防用設備を見直していかなければならない。

地下街など対策急務

消防庁、新基準を検討

検討部会では活発な意見交換が行われた

東日本大震災ではスプリンクラー、自動火災報知設備、誘導灯などの消防用設備などに破損や誤作動の被害があった。大規模地震の発生時には消防隊の早期到着が困難であるため、自動消火設備の役割は大きい。建物内にいる人の安全を確保するためには、防火機能を失わずに、建物の特徴に配慮した設備導入が必要不可欠だ。教訓を生かし、有効な手段を検討することが求められている。

そこで、火災安全性の政策推進のため、8月8日に総務省消防庁が「第1回南海トラフ巨大地震・首都直下地震等に対応した消防用設備等のあり方に関する検討部会」を開いた。検討部会では消防用設備の設置基準において、大規模地震に備えた耐震基準の新設を検討した。

意見があがったのは、建物の深層化への対応について。深層化に伴い、消防無線の不感地帯となる可能性を持つ部分が増えている。地下階の火災では濃煙が充満し内部の状況把握が難しく、消防隊の現場活動が困難を来す。そのため、消防隊相互間の消防無線の活用は必要不可欠。

円滑な消防活動において、移動局無線機と基地局無線機を無線連絡する「無線通信補助設備」の効果は大きい。法令では延べ面積1000平方㍍以上の地下街、東京都の火災予防条例では地下の階数が4以上でかつ地階の延べ面積が3000平方㍍以上に無線通信補助設備の設置を義務付けている。地下街以外でも一定の対策が必要で、全国的な対応も重要になる。

検討部会の部会長である松本洋一郎東京大学大学院工学系研究科教授は「東日本大震災から学んでなにをすべきか考えるのは喫緊の課題。自立分散的に災害に対応するのが大切である」と意見を述べた。業種、建物の用途などによって抱える問題は異なるため、足並みをそろえるためには検討部会の役割は大きい。早急に取り組むべき課題として、積極的な意見交換を行っていく。

風水害 まず事前察知

今夏、全国各地で局地的な豪雨が発生した。7月28日、山口県と島根県で記録的大雨は発生し、山口市では1時間に143㍉の雨量を観測した。複数の積乱雲が次々と発生し巨大化する「バックビルディング型」で、短時間に大雨を降らす。こうした現象は全国各地で見られ、常に危険は潜む。大雨を事前に察知し、自分で行動を起こす新たな技術も誕生している。

気象庁が「特別警報」

ネットアプリ無料で提供

地球温暖化で地表と上空の熱の差が広がり、積乱雲が発生しやすくなり、局地的な豪雨が増えている。都市は深層化が進み冠水しやすく、豪雨に弱くなっている。普段からシミュレーションして、自己判断できるように防災の力を身に付けておく必要がある。

気象庁は災害に対する危機感を伝えるため、8月30日に「特別警報」の運用を開始した。警報の発表基準を大きく超える大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪などに対し、市町村やテレビ、ラジオを通じて最大限の警戒を呼びかける。

特別警報が発令された際は、数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあると認識し、直ちに命を守る行動をとらなければならない。できる限り情報を収集し、個人で災害状況を判断して適切な行動を早急に取っていく。

日本気象協会はiPhone（アイフォーン）、iPad（アイパッド）、iPad mini対応のアプリ「Go雨！探知機―XバンドMPレーダ」を無料で提供している。同アプリは国土交通省のXバンドMPレーダーで観測したリアルタイムの雨量データを、カメラ画面上に重ねて表示する。

アプリを起動し、カメラを下に向けると自分が立っている場所を中心に半径5㌔㍍以内、上に向けると250㍍間隔の非常に細かい雨量情報が表示される。1分更新で、周辺の雨量状況を把握できる。地下街で利用すれば地上の様子が分かり、雲にカメラを向ければ雨雲か判断できる。気軽に使えて視覚に訴えるため、個人の防災対策として有効だ。観測範囲は政令指定都市を中心に広がっており、順次拡大を予定している。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合 （大津波警報を特別警報に位置付ける）	
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 （噴火警報【居住地域】※）を特別警報に位置付ける）	
地震（地震動）	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 （緊急地震速報【震度6弱以上】を特別警報に位置付ける）	

発表にあたっては降水量、積雪量、台風の中心気圧、最大風速などについて過去の災害事例に照らして算出した客観的な指標を設け、これらの実況および予想に基づいて判断
※噴火警戒レベルを運用している火山では「噴火警報（居住地域）」（噴火警戒レベル4または5）を、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報（居住地域）」（キーワード：居住地域厳重警戒）を特別警報に位置付ける
（気象庁の資料から作成）

初期消火は自営組織におまかせ

火災への対応で重要なのは初期消火。消防隊が来るまでの間に、どこまで火のまわりを抑えられるか―。不特定多数の人が訪れる百貨店やホテル、大規模ビルなどには自衛消防組織の設置が消防法で定められている。自衛消防組織の初期消火への意識を喚起するため、各消防署ではさまざまな取り組みを行っている。

審査会で技量競う

東京消防庁日本橋消防署は管内の事業所を対象に「自衛消防訓練審査会」を実施している。自衛消防訓練審査会は登録した企業・事業所から3人1隊で参加し、初期消火活動の技量を競う。消火器・屋内消火栓の使い方、119番通報、建物内の避難誘導に対し、時間、動き、声掛けなど消防操法の一挙手一投足が審査される。

9月12日9時から東京・日本橋浜町の浜町公園で「2013年度第50回記念自衛消防訓練審査会」が開かれ、28事業所から36隊が参加する。審査会本番に向けて8月20、21の両日、近隣の小学校で実践さながらの事前放水訓練が行われた。放水訓練を行う唯一の機会なため、参加隊は消防隊員の前で真剣な表情で取り組んだ。

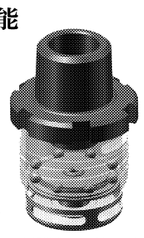
百貨店「高島屋日本橋店」から男性3人、女性3人の2隊が参加した。婦人服や紳士服売り場で働く従業員が集まり、1週間に3回の練習を積んできた。朝礼時など1カ月に一度、地震の防災訓練を行っているが、屋内消火栓を見たり触ったりする機会はないので、実際の使い方が分かると反響があった。高島屋日本橋店の坂本武夫副店長は「安心で安全な環境を用意することは顧客と従業員を守るために必要。地域から求められる役割に応えるためにも、普段から訓練している。自主防災の意識を啓発するため、審査会に参加している」という。

審査会は技量を競うだけでなく、日ごろから自衛訓練を行うきっかけをつくる。参加する企業・事業所は従業員や地域を守る意志が高く、顧客からの信頼獲得につながる。審査会の結果がセールスポイントにもなると、各隊は全従業員の思いを背負い、審査会に挑む。

審査会本番に向けた放水訓練

耐外力向上ヘッド
K シリーズ
KEC型　KQR型　KQS型　KF型

高い剛性と確実な基本性能
ヘッドの分解部に8個のボールによる多点支持の方式を採用しているため、万が一、外力を受けた場合でも、その力をフレーム部円周8方向に分散させ、分解部への影響を最小限に抑える構造となっています。（当社比）
当社従来製品と比較し、耐外力性能を向上させつつ、閉鎖型スプリンクラーヘッドとしての基本性能も確実に確保しています。


※内部構造イメージ（KQR）

フラットなデザイン
ヒートコレクターをカバー内にレイアウトし、フラットなデザインを実現しました。

国家検定合格品
KEC型 KQR型 KQS型 KF型

※製品は改良のため予告なく仕様変更を行う場合があります。

千住スプリンクラー株式会社
本　社 〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町23番地　TEL(03)3870-5011(代表)　FAX(03)3881-3199　E-mail eigyou@senjusp.com
大阪営業所 TEL(06)6391-6822　福岡営業所 TEL(092)513-0823
www.senjusp.com

必要最低限のアイテムが
A4ファイルサイズに入った
コンパクトなセットです。

災害対策備蓄品
3Day's
ライフカプセル

●北アルプス保存水（5年保存500㎖）×2本
●簡易トイレマイレットミニ10×1箱（10回分）
●アルミブランケット×1枚
●3食入ビスケットバー（5年保存）×3箱
●カイロ（貼るタイプ）×3個
●ウェットタオル×1個
●ティッシュ×2個

特長

いざという時の必須アイテムをセット
食料、衛生用品や飲料水などをオールインワンパッケージにてご提供します。

スッキリ省スペース
見えるところに置けるスッキリとしたデザイン。
A4ファイルサイズで、デスクや棚などにスマートに収納。
従業員が多い会社も安心して準備できます。

NOHMI 能美防災株式会社
本社：〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3　Tel 03-3265-0237　http://www.nohmi.co.jp/